

8月号

School Aid Japan Cambodia

スクール・エイド・ジャパン・カンボジア

Dream通信

2009. 8. No.17



「夢追う子どもたちの家」夏休み ～農作業やレクリエーションに取り組んでいます～



自分の背よりも高い草を刈っています。



暑いので帽子をかぶって作業をします。



小さい子どもをおぶって飛ぶチームも。

今回の Dream 通信では、「夢追う子どもたちの家」の夏休みについてお伝えいたします。子どもたちが通っている学校では日本と同じように夏休みがあり、7月から9月下旬までお休みとなります。中学生は7月から、また小学生は8月から夏休みに入りました。普段は学年ごとに学校の時間割も異なるため、なかなか全員が同じ作業をする時間を確保するのは難しいため、夏休みは補習の時間以外に、全員での1つのことに取り組む時間を増やしています。

①全員で農作業

火曜日と木曜日の午前中に農作業の時間を設けました。3年生以下の子どもは、野菜を栽培する時の肥料となる落ち葉を拾い、4年生以上の大きい子は、園の外の敷地で草むしりなどの作業を行っています。自分の背丈ほども成長した草を抜いていくのは大変でしたが、みんな一生懸命作業をして、ある程度きれいにする事ができました。次からは畑づくりに入ります。とうもろこしを植えて、夏休みが終わるころには、自分たちが育てたとうもろこしをみんなで食べる予定です。

②レクリエーション

土曜日の朝に、全員で取り組むレクリエーションの時間を設けています。第1回目は去年の運動会でも人気が高かった「大縄跳び」をしました。部屋ごとにチームを作り挑戦しましたが、去年の感覚が取り戻せず、また新しく入った子どもは初挑戦のため、最初はあまり飛べませんでした。幼稚園の子どもはなかなか上手に飛べないため、年長の子どもが背負って挑戦したり、縄を回す役に抜擢するなど、チームごとに創意工夫をして周囲を驚かせていました。レクリエーションの後には縄跳びがブームになり、休み時間になる度に、縄跳びを借りに来る子どもたちが後を絶ちません。夏休みの間はレクリエーションの内容を変えて、毎週実施をする予定です。

③自主学習時間

農作業のない平日の午前中は、自主学習時間を設けています。誰かに言われなくても、自分で勉強するようになるのが目標です。学年ごとに決められた教室に行き、自分のペースで教科書の練習問題などを勉強します。最初は戸惑いがちでしたが、今ではお互いに教えあうなどして、一所懸命勉強しています。また元小学校の校長先生の副園長も自習の様子を見ているので、子どもたちが分からない問題に、指導をしています。学力が遅れている子どもについては特別に時間を設けて、補習の先生に学校で習ったことの復習を指導してもらっています。

④日本語集中講座

普段は夜に30分の日本語の学習をしていますが、夏休みの時間を利用して平日の朝1時間と、土曜日の午後3時間、授業時間数を増やしています。朝の1時間は、他の授業と同じように自習時間にあてています。最初はひらがなしか書けなかった子どもたちですが、少しずつ文章を読み書きできるようになってきました。子どもたちは楽しみながら日本語の学習を続けており、いつか日本で里親様になっていただいている、お父さんやお母さんに日本語で手紙を書くと言っており、目標を持って取り組んでいます（※日本語授業は選抜クラスとなっており、学力にある程度余裕のある子どもが授業に参加しています）。



教科書を見ながら自習中です。



こちらは日本語の自習中です。



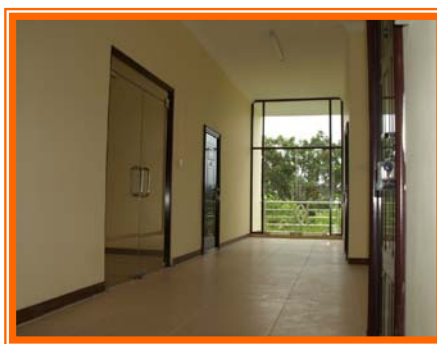
夏休みも皆元気いっぱいです。

～新しい職員用宿舎が完成しました～

以前の Dream 通信でお伝えしましたが、「夢追う子どもたちの家」では、80人の子どもを受け入れる予定のため、職員の増員に備えて新しい職員宿舎を園の敷地内に建設しました。6月に新しい宿舎が完成し、現在園で勤務している保母担当職員などが宿舎として利用しています。2階建ての宿舎は全8室あり、職員は2人で1部屋を使用しています。シャワーとトイレが全室に完備され、また共同で利用できるキッチンもあります。廊下には大きな窓があり、昼間は光が差し込みとても明るいです。完成したばかりの宿舎はとても綺麗で清潔感があり、職員からの評判はとても良いです。保母担当職員は具合の悪い子どもの対応や、深夜に緊急で子どもの対応をしなければならない場合に備えて、男子棟と女子棟にある職員部屋に各1名ずつ常駐しています。



完成した2階建ての宿舎。



宿舎内の写真。



職員が宿泊する部屋です。